

行政視察報告書(1)

令和元年

保存年限	永・10・(5)・3・1年	文書番号	8	視察一報	書(1)
<input checked="" type="checkbox"/> 開示	<input type="checkbox"/> 一部開示	<input type="checkbox"/> 不開示(理由: 条例第	条第	号	該当)
□時限不開示(開示: 年 月 日)					
議長	副議長	局長	次長	係長	係

平成31年 5月 31日

会派名 糸魚川21クラブ

代表者名 田原実

報告者名 田原実

当会派は、下記のとおり視察したので、報告いたします。

記

1、視察議員名

田原 実

2、視察期間

平成31年 5月 19日(日)から

平成31年 5月 20日(月)までの2日間

3、視察先

1、東京都目黒区美術館および目黒区総合庁舎

2、東京都墨田区押上東京スカイツリー施設内展望ロビー

3、千葉県佐倉市佐倉市役所および佐倉市スマートオフィスプレイス

4、視察目的と概要

1、ミュージアムガイドとワークショップについて(目黒区美術館の取り組み)

2、都市交流事業について(東京都墨田区押上との地名つながりと新駅開業交流)

3、ファシリティマネジメントについて(千葉県佐倉市のとりくみ)

4、スマートオフィスプレイスについて(千葉県佐倉市のとりくみ)

<スケジュール>

5月19日 糸魚川発 9:13 北陸新幹線 東京着 11:36

目黒区美術館着 12:30

○目黒区総合庁舎 建築ガイドツアー参加(別紙)

○建築ガイドツアーボランティアガイドへの質疑応答

中目黒発 17:30 電車 上野着 18:00

\*宿泊 上野周辺ビジネスホテル

5月20日 上野発 9:00 地下鉄 押上着 9:30

○墨田区押上との地名つながりと新駅開業交流について

634 押上まちづくり研究会、元墨田区議会議長西原氏と意見交換

新駅開設資料と糸魚川市押上区民からの親書を手渡す

押上発 10:30 電車 京成佐倉着 11:30

佐倉市役所着 11:40 \*建築家黒川紀章設計庁舎議場見学

○佐倉市ファシリティマネジメントについて調査

(佐倉市公用車にてユーカリヶ丘へ移動)

○スマートオフィスプレイスについて調査

調査終了 16:30

上野発 20:18 北陸新幹線 糸魚川着 22:30



## 5、レポート

### ○目黒区美術館および目黒区総合庁舎

平成27年に私が訪れて以来つながりが出来た目黒区美術館へ、糸魚川市ガーデンミュージアム運営協議会谷村美術館支配人細井さんといっしょにうかがい、館内見学後に建築家村野藤吾の有名な建築を学ぶツアーに参加しました。目的は目黒区美術館が企画運営している建築ツアーの運営と工夫を見て、糸魚川の谷村美術館の運営に役立てることです。

今年で16年目を迎える目黒区総合庁舎建築ガイドツアーから学ぶことは多くありました。例えば1回のツアーの中でも、A通常コース（建築家ガイド）B和室集中コース（建築家ガイド）C楽しく見るコースD英語コースの4つのコースを用意し、専門知識をもつボランティアスタッフがいろいろな目的の参加者に対応できるよう工夫されています。私たちが参加したのはA通常コース（建築家ガイド）でしたが、素晴らしいガイドでした。「建築家村野藤吾の作品を研究し尽くしたつもりでも毎年新しい発見があり興味がつきない」という、ガイドしてくださった建築家佐藤健治さんの言葉に、谷村美術館での建築ガイドの工夫とリピーター増大の可能性を感じました。例えば、じっくり見学&解説2時間コース、村野建築を理解する1時間コース、澤田政綱彫刻作品を理解する1時間コースなどを設定し、多様な対応で顧客満足度をアップし入込客を増やす取り組みができそうです。またインバウンド向け建築・展示彫刻・庭のガイド資料を整備する必要もありそうです。

ツアー終了後には目黒区総合庁舎会議室において反省会が開かれ、各コースのガイド（建築家等）と目黒区美術館スタッフさんと学生ボランティアサポーターさんから報告があり、出された問題点への対策が考えられました。その主なものとして、

- ・参加者はどこから来たか、建築専門か一般か、参加の目的は、など分析し発表する。
  - ・アンケートの意見を紹介する。
  - ・サポータースタッフへのお願いと、サポータースタッフからの意見、感想をうかがう。
- また、ガイドをする工夫や注意点として、
- ・一方的な説明としない、参加者と対話形式で説明をするように心がける。
  - ・ツアー中は写真撮影を禁止、その理由は、撮影に気をとられて説明を聞いていない。又撮影していて遅れるとガイドする時間がなくなる。ただどのくらい徹底できるか。
  - ・集団から遅れている人のフォローをする。
  - ・庭を通るときには、きれいにならした土の上を歩かないように。また文化財的な価値の和室の造作にはいっさい触らないように、強く指示する。
- などでしたが、たいへん参考になりました。

私が今回の目黒区総合庁舎建築ガイドツアー参加して感心したことや気づいたことは、

- ・竣工時や昔の写真資料を示し現状と比較しての説明があってわかりやすい。
- ・スタッフミーティングがたいへん重要。谷村美術館建築ツアーでもミーティングをしっかりおこなう必要がある。谷村美術館スタッフのガイド、糸魚川市での定期観光バスのボランティアガイドはミーティングをしているだろうか、気になる。

といったことでした。

特に、この毎回のツアー直後の反省会の積み重ねが「目黒区総合庁舎建築ガイドツアー」の質の高さとリピーターの獲得につながっていると思います。なお、反省会の後の懇親会にも出席して運営について質疑をさせていただき、今年の「谷村美術館建築ツアー」への参加、これからの美術館相互の人的交流、糸魚川市へのご指導をお願いしました。



充実した品ぞろえの目黒区美術館のお洒落なショップ



目黒区総合庁舎ロビーで建築ガイドツアー受付・説明



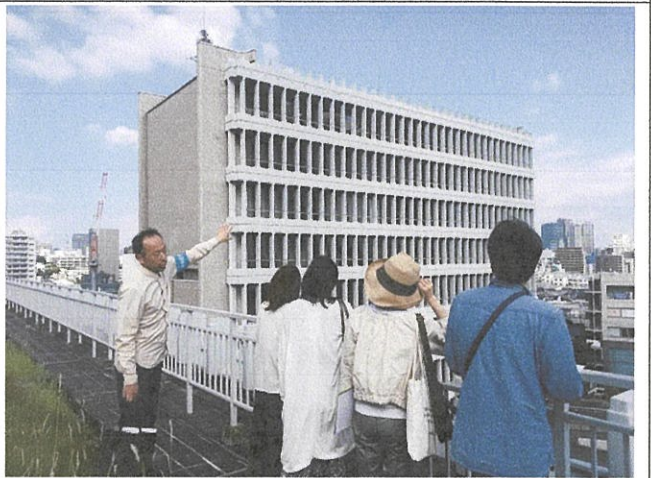
「これは世界一美しいキャノピー」と建築ガイド佐藤さん



建築家村野藤吾の作品の中でも特に有名な曲線階段



50年以上前の設計でも美しいと感じる外壁スクリーンと池



屋上に上がっての見学は建築ツアーならではのオプション



ツアー直後のミーティング（反省会）が大切



ガイドの佐藤さん（左）と谷村美術館細井支配人（中央）

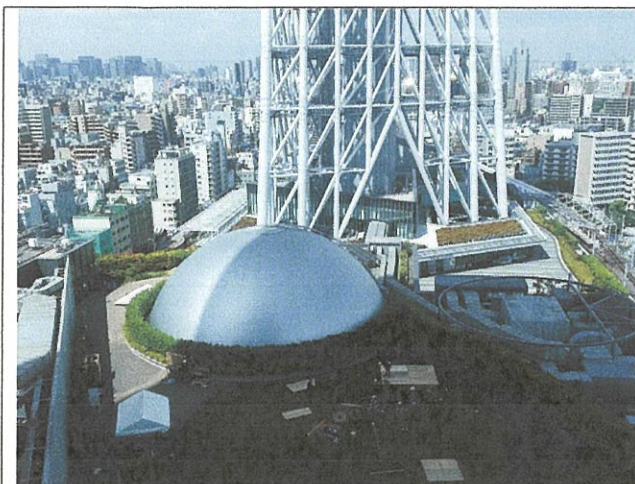
### ○東京都墨田区押上東京スカイツリー施設内展望ロビー

元墨田区議会議員西原文隆さんのご配慮で東京スカイツリー施設内展望ロビーにて面談させていただきました。まず糸魚川市で計画がすすむ押上新駅の近況を報告させていただき、また糸魚川市押上区の伊井区長さん、伊藤前区長さんからの親書をお渡ししました。糸魚川の押上駅はいつ完成ですか？3年後ですか？と西原さんに尋ねられ、早ければ来年に、再来年の3月には開業の予定ですのでそのときにはぜひ糸魚川へおこしてくださいとお答えしましたが、そのとおりになるよう気をひきしめて頑張らなければなりません。

西原さんに仲立ちしていただき始まった墨田区の押上と糸魚川の押上とのつながりづくりの経緯をふりかえり話がはずみます。ご縁というものは大切にしていかなければいけませんね。と西原さん。その言葉どおりに、大火災害の直後に見舞いに駆けつけてくださった西原さんに、現在の糸魚川大火からのその後についてもお話しさせていただきました。みなさんで協力してがんばってほしいと、被災地の再生復興にエールをいただきました。

展望ロビーから良く見える東武鉄道伊勢崎線（東武スカイツリーライン）と計画道路の交差する場所の高架線工事、その状況についてよく知る西原さんから説明をいただきました。この高架線工事は計画されたものの費用対効果が問われて一時中止となり、スカイツリーの完成で再び計画がすすんで実施となったものだそうです。（下図）

まちづくりはね、時間がかかるんですよ。との西原元区議の何気ない言葉には、長く政治の第一線で活躍してきたトップリーダーの思いが凝縮していると思いました。



関係者が利用できるスカイツリー展望ロビーより



現在は墨田区福祉協議会会長の西原文隆元区議

